



志を立て 未来を拓く 心豊かな生徒の育成

## 三刀屋中学校だより

令和4年1月

TEL 45-2421

### ～GIGA スクール構想始まる～

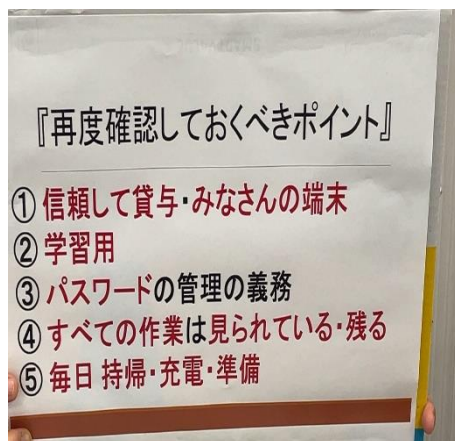
1月より雲南市内の小・中学校では、GIGA スクール構想に基づく取組が始まりました。本校では、1月14日(金)に雲南市教育委員会の小田川統括監に来ていただき開封の儀(義務教育終了まで自分の物として大切にする。自分の物として責任を持って管理する宣誓)を行い、一人一人にタブレット端末を渡しました。今後は、毎日の健康観察や授業、レポート作成、宿題等で活用していきますので必ず持ち帰り充電をお願いします。

学校教育において、どんなに社会が変化しようとも「時代を超えて変わらない価値のあるもの」(不易)と「その時代の移り変わりとともに変えていく必要があるもの」(流行)があります。不易のものとしては、社会は様々な人との交流や営みを通して成り立っているのも豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心、人権を尊重する心、自然を愛する心。また、その国の言語、歴史や文化、先達が残してくれた芸術、文化、民話、伝承なども時代を超えて伝えていかなければならないものです。

一方、流行のものとしては今回の ICT です。予測不可能な未来社会や情報化社会を生きる生徒にとって ICT を適切に安全に使いこなすことができるようネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していくことも重要です。一見、相反するものですがどちらも学校教育には必要なものです。「不易と流行」という言葉は、松尾芭蕉の残した言葉とされています。「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」(変わらないものを理解しないで、基礎は成立しないが、変わるものを理解しないと進展がない) というものです。また、芭蕉は「不易と流行のその基は1つなり」ともいっています。教育現場は、GIGA スクール構想、カリキュラム・マネジメント、社会に開かれた教育課程等その時代に応じた教育活動が求められていますが本校の教職員一同で「不易」と「流行」を十分に見極めつつ、教育活動を行っていきますので今後ともご支援・ご協力賜りますようお願いいたします。



【開封の儀】



【確認ポイント】



【基本スキル演習】

# 後期生徒会役員スタート

1月13日(木)に第1回生徒会活動があり、後期生徒会がスタートしました。今年度の生徒会スローガンは、『輝け～皆でつくり、皆が主役～』です。①一人一人が生徒会の一員としての自覚を持ち、積極的に活動に参加する。②生徒の自主性を尊重し、安心して自分らしさを発揮できる学校づくりを目指す。③これまでの活動を再考し、新しい活動や展開的活動をしようとする意欲・態度を育てることを目標に取り組んでいきます。これまでのよき伝統を受け継ぎ、自分たちならではの新しい活動に取り組んでいってほしいと思います。

## 《新しい生徒会役員》【敬称省略】

生徒会長	小野原志朗	生徒会副会長	山内琉之介
生徒会副会長	小林 優那	書記	武繁 羅生
書記	白根 玲	会計	黒田 美月
生活委員長	渡部 一花	生活副委員長	白根 琉希
美化委員長	奥野 暖	美化副委員長	須山 嵩真
文化委員長	中村 心菜	文化副委員長	伊東 千尋
図書委員会	片寄 由唯	図書副委員長	星野 琴美
体育委員長	清水 美咲	体育副委員長	片寄 来珂
保健委員長	松谷 遥月	保健副委員長	渡部 芽生
福祉委員長	藤原 千尋	福祉副委員長	板垣 菜緒
応援団長	森山 禅	応援副団長	川上 悠斗



【生徒会執行部】



【美化委員会】



【生活委員会】



【体育委員会】



【文化委員会】



【福祉委員会】



【保健委員会】



【図書委員会】

※本校のホームページ随時更新中！ぜひご覧ください！<http://shimane-school.nt/unnan/mitoya-chu/>



# 平和学習

12月23日(木)に1年生は、平和学習として永井隆記念館を訪問しました。事前学習として学校司書の遠田さんに永井隆博士に関する資料や本の紹介をしていただき十分意識を高めてから見学しました。事前学習のグループの話し合いでは永井博士に関することとして子ども時代のこと、大学で学んだこと、家族について、残された言葉など三刀屋小学校、鍋山小学校で学習したことが次々と発表され小学校、中学校の系統的な学習の大切さを感じました。

永井記念館では、館長さんの説明を聞いたりビデオや写真を見たりして平和の大切さや郷土の偉人の功績についての理解を深めることができました。



【事前学習の様子】



【永井隆の功績について学ぶ】

## 《生徒の感想》

- 永井博士は、母親の死をきっかけとしてキリスト教に入ったこと。亡くなる前に「祈ってください」といって亡くなられたことなど、今日ビデオを見るまで分からなかったことが知れてよかったです。
- 永井隆さんは自分のことだけを考えるのではなく、人のことをしっかりと考えているところが素晴らしいと思いました。自分も大変なのに人を優先するのはすごいと思いました。



【館長さんの話を聞く生徒】



【パネルの見学】

# 三中書き初め展



本校のサンホープで全校の書き初めを展示しています。全校の書き初めが一面に張られると壮観な眺めです。

書き初めとは、新年にはじめて筆で字や絵をかくこと。

または、その書のことといわれています。書き初めには1年の抱負や計画、おめでたい言葉を認(した)たため、目標成就や新年のお祝いをする意味があり、平安時代の宮中で行われた年始めの文書を奏聞(天皇に申し上げること)する「吉書の奏」が起源だといわれています。生徒たちは、「大志を抱く」、「不断の努力」、「初志を貫く」等、自分の想いや願いを込めて力強く書いていました。本来なら多くの人に見ていただきたいのですがコロナ禍ということもありとても残念です。



## 三中写真展

今年度も三刀屋写真クラブの皆さんのご協力のもと12月13日(月)から17日(金)の5日間、本校の期末保護者面談に合わせてサンホープにて「三中写真展」も開催していただきました。

四季折々の風景や行事、雲南市の名所等の写真17点が展示されました。その中には、高校野球でデッドボールの瞬間を捉えた写真もあり、写真クラブさんの一瞬を見逃さない腕前の素晴らしさを感じさせられました。

多くの生徒や教職員、保護者の方が見入るとともに改めて『ふるさと島根』のよさを感じることでできる写真展でした。



【三刀屋写真クラブの皆さん】



【三刀屋中写真展】

## 保護者、地域の方に支えられて



【PTA 登校指導の様子】

12月14日(火)に三刀屋町人権擁護委員会の方々からシクラメンの花を贈呈していただきました。シクラメンの花言葉は「絆」。人と人がつながる上では大切なものです。本校の生徒も日常生活や行事等を通して友達や家族、地域の方々と「絆」を深めていってほしいと思います。



【ベルマークの贈呈】

9月24日から12月10日まで毎週金曜日に保護者の方には、お忙しい中、朝早くから登校指導にご協力していただきありがとうございます。生徒たちの朝の登校の様子はどうだったでしょうか。保護者、地域の皆様のおかげで今年度は大きな事故もなく生徒たちは安全に元気に登下校できることに感謝しています。もし、登下校で危ない箇所や生徒の登下校等で気になることがありましたらご連絡いただくと随時対応しますのでよろしくお願い致します。



【シクラメンの贈呈】

また、1月11日(火)には、日本教育公務員弘済会島根支部様よりベルマーク5000点分の贈呈がありました。今後の教育活動に有効に役立てていきたいと思っております。ありがとうございました。